

# 結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月21日(水)	試合番号	1	回戦	2
種別	男子・女子	会場	伊弉諾八王子・駒沢体育館		
Aチーム			Bチーム		
国士舘大学			大阪体育大学		
得点合計	小計		小計	得点合計	
27	15	前半	12	26	
	12	後半	14		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

## 【 戦 評 】

記載者氏名

井上 裕太

インカレ優勝の国士舘大学対インカレベスト8の大阪体育大学との大学生対決となった一戦。大阪体育大学のスローオフで前半スタート、大阪体育大学は助安のポストシュートで先制する。国士舘大学も斉藤のロングシュートですぐさま応戦。その後、大阪体育大学の立石、西田などの速攻で4連取、5対1としたところで国士舘大学がたまらずタイムアウト。国士舘大学も玉川のポストシュート、吉田のサイドシュートなどで前半16分には7対7の同点とする。25分過ぎ大阪体育大学が1線から1.5へとディフェンスシステムを変えた所でセンターバックの助安が2分退場。残り5分はお互い攻防が続き15対12で前半終了する。後半立ち上がり立石、西田の2連取で大阪体育大学差を詰めるが、国士舘大学も佐々木、峯などの得点により差を徐々に広げ5点差。その後、退場なども絡み国士舘大学ペースになるかと思われたが、逆にペースをつかんだのは大阪体育大学、18分には24対24の同点とする。20分過ぎ助安の2回目の退場で大阪体育大学が6人となる。この局面で国士舘大学は小峰の好セーブもあり2点差と点差を広げる。25分佐々木の退場により大阪体育大学にチャンスが巡る28分には再び同点とする。29分20秒で安倍シュートで国士舘大学が1点勝ち越す。この1点を残り40秒守りきり国士舘大学の勝利で試合終了。大阪体育大学は最後まで大学王者を苦しめた。